



## P検 2008 解説

~ 中学・高校「団体受験用」 ~

パソコン検定協会事務局



## 目次

「P検 2008 キット」は、5月連休明けのお届けとなります	2
1. 実施日程と受験申請方法について	3
A. 「随時実施型」になりますので、「年間いつでも」実施できます	3
B. 「随時実施型」になりますので、「一人の生徒さん」から受験できます	3
C. 受験申請の方法	3
2. 当日の試験実施手順について	4
A. CDとFDがなくなります	4
B. 試験の流れ	4
3. 試験内容および制度面の変更点について	5
A. タイピングテストが5分になります。	5
B. 「P検タイピング(無料)」が新たにスタートします	5
C. 準4級は、ペーパー試験方式からCBT方式に変わります	5
D. 5級が、テキストとペーパー試験のセットで200円でのご提供	5
E. アプリケーション選択にVista、Office2007、一太郎2007が追加されます	5
F. 4級、3級、準2級の実技テストが、アプリケーション起動型になります	6
G. 2級が実施可能になります	6
4. 必要なPCスペックと動作確認について	7
A. P検を実施するパソコンの必要スペック	7
B. 動作確認の手順(模擬試験の利用)	7
C. 動作確認の手順(「P検 2008 キット」到着以降)	8
D. 本番の本試験システムの実施イメージ	8
5. その他	9
A. 再チャレンジチケットは、今年も7月末まで発行	9
B. 合否結果通知がスピーディーに	10
C. 受験料の支払い方法は、従来通り「ゆうちょ振込用紙」で	10
D. 試験結果データの閲覧、ダウンロードが可能に	10
E. 試験実施経費について	10
F. 受験料(学校価格)は変更ありません(2級が追加されました)	10
6. 出題カテゴリ・合格基準	11

## 「P検 2008 キット」は、5月連休明けのお届けとなります

「P検 2008 キット(新年度用のご案内)」のご送付が、例年より遅れており、誠に申し訳ありません。本年度は5月連休明けのお届けとなります。

本年度は、CBT(Computer Based Testing)システムの大規模リニューアルを行うと共に、試験問題の見直し、その他、「無料P検タイピング試験」の開始など、“これからのP検”のための改定を行いました。

「P検 2008 キット」が届き次第、内容をご確認の上、P検実施のご準備をいただきたく、よろしくお願ひ申し上げます。

パソコン検定協会事務局

### < P検 2008 キットの内容 >

- 教師用ガイド
- 実施手順書
- P検案内チラシ
- P検ポスター
- 実施告知ポスター
- 受験料提出袋
- P検教材発注書
- P検資料請求書
- 大学・短大入試優遇/単位認定情報

### < 用語の解説 >

「先生 MENU」	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 「先生 MENU」とは、「受験申請」、「試験結果データの閲覧」、「実施手順書」のダウンロードなど、P検実施に関わる全てのメニューをWEB上に集約してご用意したものです。</li><li>・ 先生は、インターネット経由で「先生 MENU」にログインし、P検実施の準備を行うことができます。</li><li>・ ログイン方法など、詳細は「P検 2008 キット」に記載いたします。</li><li>・ 「P検 2008 キット」が届き次第、ご利用いただくことができます。</li></ul>
CBT	・ (Computer Based Testing) パソコンを利用したテストシステム

## 1. 実施日程と受験申請方法について

### A. 「随時実施型」になりますので、「年間いつでも」実施できます

- 「随時実施型」になるため、年間いつでもP検を実施することができるようになりました。

### B. 「随時実施型」になりますので、「一人の生徒さん」から受験できます

- 「随時実施型」になるため、受験者数の制限もなくなり、一人の生徒さんから受験することができます。

### C. 受験申請の方法

- 「先生 MENU」の「受験申請フォーム」から、受験日(開始日と終了日)、等級ごとの受験者数、先生のお名前と連絡用メールアドレスを入力してお申し込みいただければ OK です。
- 「受験開始日」と「受験終了日」は、最大 15 日間で設定することができます。
- この受験申請の後、すぐに「受験 ID」などが記載された「受験票」を画面上で確認することができますので、それを印刷して生徒さんに配布すれば、すぐに受験をすることができます。
- 「先生 MENU」の URL やログイン方法は、「P検 2008 キット」に同封される「実施手順書」をご確認ください。

**「実施手順書」は「P検 2008 キット」に同封いたします**  
**その後は「先生MENU」からダウンロードしてください**

本年度から随時実施が可能になるため、従来のように、試験の都度「実施手順書」をお送りすることが難しく、先生にはたいへんお手数ですが、「実施手順書」の追加が必要なときには、「先生 MENU」からダウンロードしていただきますよう、お願い申し上げます。

## 2. 当日の試験実施手順について

### A. CD と FD がなくなります

- 従来のように、CDとFDをパソコンに挿入する必要がなくなります。試験システムが、自動的にインターネットを經由してCBTサーバから試験問題を取得します。
- 従って、CD と FD を送り返していただく手間は一切なくなります。

「CBT サーバ」とは、先生からの受験申請に基づいて、試験問題の配信と結果データの取得をするためのサーバです。

### B. 試験の流れ

まず受験申請をします。

試験当日までに、「先生 MENU」から「受験票」を印刷してください。  
(以上 は試験当日でもできます)

試験当日、「先生 MENU」から「デイリーパスワード」を確認します。

「デイリーパスワード」とは、毎日変わる4桁の数字のことで、試験システムのセキュリティを高めるためのものです。  
先生だけがログインできる「先生 MENU」で確認することができます。

生徒さんに「受験票」をお配りいただき、受験票に氏名を記入させます。(後に受験票を回収し、管理するためです。)

試験開始時だけ、黒板などの目立つところに、「デイリーパスワード」を書いてください。(試験が開始されたら消してください)

試験開始

生徒さんは、デスクトップ上の「CBT アイコン」をダブルクリックし、「受験者ログイン画面」からログインして試験を開始します。試験問題は自動的にダウンロードされます。

ログインの際の「受験 ID、パスワード」などは受験票に記載してありますので、先生からのデイリーパスワードと合わせて入力させます。

CBT アイコンとは、試験システムのスタートスイッチとお考えください。  
上記 は、基本システムのダウンロードが完了している場合の開始方法です。詳しくは 8 頁～(D.本番の本試験システムの実施イメージ)をご参照ください。

試験終了

- ・ 試験が終了すると、自動的に試験結果データが送信されます。
- ・ 中学・高校団体受験の場合、試験終了時の合否結果の表示はいたしません。

先生は、受験日の翌日には、昨日の試験結果を「先生 MENU」から閲覧することができる他、ダウンロード(CSV 形式)することもできます。

### 3. 試験内容および制度面の変更点について

#### A. タイピングテストが5分になります。

- タイピングテストの実施時間が10分間から5分間になります。

#### B. 「P検タイピング(無料)」が新たにスタートします

- P検2008の本試験と同じ「5分間のタイピングテスト」を無料で何度でも受験することができます。
- 得点が、P検4級・3級のタイピングテスト合格ラインに達すると、「タイピングカテゴリ合格コード」が発行されますので、本試験の時に、そのコードを入力することによりタイピングテストがスキップされ、P検タイピングの得点が適用されます。
- タイピングが苦手な生徒さんが多いとの声から、本年度、新たに開始いたします。遠慮なくどんどんご活用いただき、生徒さんに自信をつけてあげてください。

#### C. 準4級は、ペーパー試験方式からCBT方式に変わります

- 準4級のペーパー試験は廃止となり、CBT方式での実施となります。

#### D. 5級が、テキストとペーパー試験のセットで200円でのご提供

- 5級は、情報教育の「導入」として人気が高く、先生方から、簡単なテキストによる導入教育ができないかとのご要望をたいへん多くいただきました。
- 今回の「情報の基礎(P検5級セット)」は、B5版カラー48頁のテキストと、P検5級ペーパー試験(9パターン)と、合格証書をセットにしたもので、学校価格200円(一般価格500円)でのご提供となります。見本は、「P検2008キット」に同封させていただきます。

#### E. アプリケーション選択にVista、Office2007、一太郎2007が追加されます

- 「Word 2007」「一太郎 2007」「Excel 2007」「Windows Vista」が、4級～2級の選択バージョンに追加されます。

- 但し、次項(F)も参考にしてください。4級～準2級については、実技テストの実施可能なバージョンでの試験実施となります。

#### F. 4級、3級、準2級の実技テストが、アプリケーション起動型になります

- 4級、3級、準2級のワープロ、表計算カテゴリの実技テストが、従来のシミュレーション型からアプリケーション起動型になります。
- そのため、4級、3級、準2級を実施するPCには、**ワープロ、表計算カテゴリ毎に、それぞれ以下表のいずれかのアプリケーション・バージョンがインストール**されている必要があります。
- 4級、3級、準2級を実施する際には、従来のようにバージョン選択ができるのではなく、インストールされているアプリケーションとそのバージョンが出題されることとなりますので、予め、ご確認ください。(動作確認プログラムを実行すると、実施可能なバージョンが画面に表示されます。)

< 実技テストの対応バージョン >

ワープロカテゴリ	Word 2002・2003・2007 一太郎 2005・2006・2007
表計算カテゴリ	Excel 2002・2003・2007

#### G. 2級が実施可能になります

- 従来、中学・高校団体受験では、P検2級の実施ができませんでしたが、P検2008からは、実施可能となります。
- 2級の総合実技テストは、Word、一太郎、Excel、PowerPointのうち、最大2つまでのアプリケーションを起動して成果物の作成を行います。
- そのため2級を実施するPCには、カテゴリ毎に以下表のいずれかのアプリケーションがインストールされている必要があります。
- 2級の総合実技テストは、受験者が成果物作成をする際に使用するアプリケーションとバージョンがインストールされていることを確認した上で実施してください。

< 総合実技テストの対応バージョン >

ワープロカテゴリ(実技テスト同様)	Word 2002・2003・2007 一太郎 2005・2006・2007
表計算カテゴリ(実技テスト同様)	Excel 2002・2003・2007
プレゼンテーションカテゴリ	PowerPoint 2002・2003・2007

#### 4. 必要な PC スペックと動作確認について

- 新試験システムは、基本システムのダウンロードとコピーだけですので、管理者権限がなくても、インターネットに接続できるパソコンがあればP検を実施することができます。

##### A. P検を実施するパソコンの必要スペック

- 以下表は、P検を実施するパソコンの必要スペックです。
- 但し、次項(B)の動作確認が実行できれば、試験実施に支障はありません。

OS	Windows 2000(SP4 以上) or Windows XP or Windows Vista(必須)
CPU	Celeron/Pentium4 1GHz相当以上(推奨)
メモリ	Windows 2000/XP・・・256MB 以上、Windows Vista・・・1GB 以上(必須)
画面解像度	1024×768 ピクセル以上(必須)
空きディスク容量	128MB 以上(必須)
インターネット接続	インターネットへの常時接続が可能であること(必須)
ブラウザ	Internet Explorer: バージョン 6.0 以上(必須)
アドミニ権限(管理者権限)でなくても実施可能です。	
実技テスト(4、3、準2級の場合)、総合実技テスト(2級の場合)に必要なアプリケーションソフトがインストールされていること	

##### B. 動作確認の手順(模擬試験の利用)

- 動作確認は、以下の手順で「模擬試験」をダウンロードして実施してください。

P検公式サイト(<http://www.pken.com>)の「中学・高校団体受験用 P検 2008 解説 & 模擬試験」のページから必要な模擬試験を選んでクリックします。



上のメッセージから「保存」をクリックし、デスクトップなど、任意の場所に保存(ダウンロード)します。

保存された「Zip ファイル」をダブルクリックして解凍します。

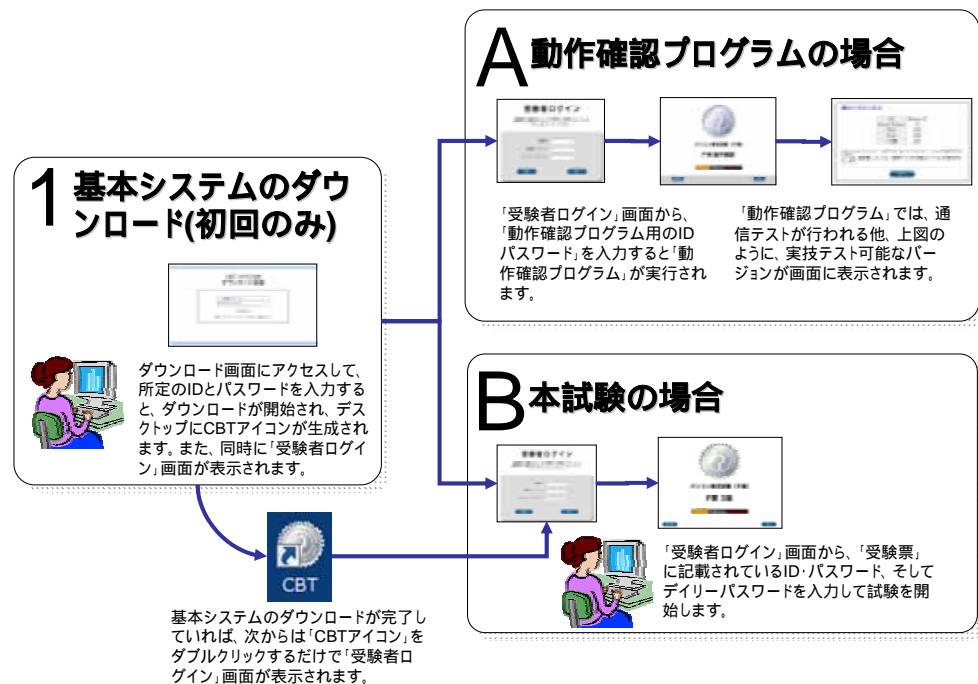
生成されたフォルダの中にある「kentei.exe」をダブルクリックすると「模擬試験」が始まります。

### C. 動作確認の手順(「P検 2008 キット」到着以降)

- 「P検 2008 キット」の到着以降は、別途ご用意いたします「動作確認プログラム」がご利用いただけます。(詳しくは、「P検 2008 キット」に同封される「実施手順書」をご覧ください。)
- 「模擬試験」では、全ての出題形式の動作確認ができますが、この「動作確認プログラム」では、それを短時間で行うことができ、且つインターネットの通信テストが加わります。(基本的にインターネットに接続できればP検の実施は可能です)

### D. 本番の本試験システムの実施イメージ

- 以下は、「P検 2008 キット」到着以降の、本試験の実施イメージです。
- 詳細の手順は、「P検 2008 キット」に同封される「実施手順書」に記載いたします。また、文中の「ID、パスワードなど」は各校個別のもので、  
「P検 2008 キット」にてご案内させていただきます。



まず上図<1>で、「基本システム」のダウンロードを行います。ダウンロードをするだけで、デスクトップに「CBT アイコン(試験システムのスタートスイッチ)」が生成されます。

そのまま自動的に「受験者ログイン」画面が表示されます。(「受験者ログイン」画面で、「中止」をクリックしても「CBT アイコン」は生成されています。)

#### <A> 「動作確認プログラム」を実行するには

- 「受験者ログイン」画面で、動作確認用の ID とパスワードを入力すると、「動作確認プログラム」が実行されます。

#### <B> 「本試験」を開始するには

生成された「CBT アイコン」をダブルクリックするだけで、本試験を開始することができます。

上図<1>の「基本システム」のダウンロードから、そのまま続けて本試験を開始することもできます。

リカバリーソフトがインストールされている場合、CBT アイコンが生成されません。この場合は、 の方法で実施してください。  
CBT アイコンが生成されていれば、 の方法で実施してください。

## 5. その他

### A. 再チャレンジチケットは、今年も7月末まで発行

- 7月末までの受験で不合格だった場合、同一級一回に限り、再受験できる「再チャレンジチケット」を無償で発行いたします。
- 本年度より、「再チャレンジチケット」がお手元に届きましたらすぐにご利用可能です。
- ご利用になられた「再チャレンジチケット」を事務局までご返送いただくと、当該受験が無料となり、ご請求から除外されます。

## B. 合否結果通知がスピーディーに

- 先生が行う「受験申請」では、受験開始日と受験終了日を最大 15 日間で設定することができます。
- この「受験終了日」の翌日以降 1 週間以内に、期間中の受験者の合否通知を発行・送付いたします。従来のようにご入金を確認してからの発行ではなくなります。

## C. 受験料の支払い方法は、従来通り「ゆうちょ振込用紙」で

- 前項(B)の「合否通知」の発行の際、その中に、期間中の合否通知数分の「計算書」と、「ゆうちょ振込用紙」を同封いたします。
- 期間中、「再チャレンジチケット」のご利用があった場合には、その分を減額してお振込みいただき、チケットを事務局まで郵送してください。

## D. 試験結果データの閲覧、ダウンロードが可能に

- 受験日の翌日には、昨日の試験結果を「先生 MENU」から閲覧することや、ダウンロード(CSV 形式)することができます。
- ダウンロード(CSV 形式)の場合、表計算ソフトなどで読み込むと、お使いやすいと思います。

## E. 試験実施経費について

- 本年度より、「試験実施経費」の取り扱いにつきましては、教育委員会及び地方自治体への「行政財産使用料」の支払い等、公的な請求を除き全て廃止とさせていただくこととなりましたので、ご理解の程よろしく願いいたします。

## F. 受験料(学校価格)は変更ありません(2 級が追加されました)

- 2 級(4,000 円)、準 2 級(2,500 円)、3 級(2,500 円)、4 級(2,000 円)準 4 級(2,000 円)、5 級(200 円、テキストとペーパー試験含む)

## 6. 出題カテゴリ・合格基準

P検2008 出題カテゴリと合格基準

等級	出題カテゴリ	出題形式	カテゴリ別		全体		テスト時間 3 (以下は実施順に表記 しています)
			出題数	必要 正解数 30%以上	出題数	合格基準	
1級 (1000点満点)	情報基盤整備	選択式テスト 論述式テスト	10 問	-	10 問	選択式および論述式10問中、7問以上に正答(70%以上の正答率/1000点中700点以上)の場合に合格 カテゴリ統合問題のため、カテゴリ別の足りきり設定は無し	選択式 & 論述式テスト 合計90分
	情報セキュリティ管理						
	利用部門内情報化の推進						
準1級 (900点満点)	情報セキュリティ管理	選択式テスト	10 問	3問以上	40 問	以下基準を全て満たしている場合に合格 選択式テスト40問中、28問以上に正答(70%以上の正答率/900点中630点以上) 各カテゴリの正答率が全て30%以上	選択式テストのみ 合計60分
	利用部門システム運用管理		10 問	3問以上			
	ネットワーク		10 問	3問以上			
	データベース		10 問	3問以上			
2級 (800点満点)	コンピュータ知識	選択式テスト	10 問	3問以上	55 問	以下基準を全て満たしている場合に合格 選択式テスト55問中、39問以上に正答(70%以上の正答率/700点中490点以上) 各カテゴリの正答率が全て30%以上 総合実技テストで、100点中60点以上の得点(60%以上の得点率)	選択式テスト40分 総合実技テスト30分 合計70分
	OS		10 問	3問以上			
	ネットワーク LAN(5問) インターネット(5問)		10 問	3問以上			
	情報モラルと情報セキュリティ		10 問	3問以上			
	ビジネス・アプリケーション ワープロ(5問) 表計算(5問) プレゼンテーション(5問)		15 問	5問以上			
	総合実技テスト 1	複合成果物作成型 実技テスト	1 課題	右記	1 課題		
準2級 (700点満点)	タイピング	タイピングテスト	右記		選択式テスト62問 実技テスト8問 計70問	以下基準を全て満たしている場合に合格 タイピングテスト5分間に、100点中/50点以上の得点(日本語375文字以上あるいは英字638文字以上のいずれか) 選択式テストおよび実技テスト70問中、46問以上に正答(65%以上の正答率/600点中390点以上) 各カテゴリの正答率が全て30%以上  一次郎検定1級の合格基準 ワープロカテゴリで一次郎を選択し、そのカテゴリ正答率が70%以上であり、P検準2級に合格している場合、一次郎検定1級の同時合格となる	タイピングテスト5分 選択式テスト35分 実技(ワープロ)10分 実技(表計算)10分 合計60分
	コンピュータ知識	選択式テスト	10 問	3問以上			
	OS		10 問	3問以上			
	ネットワーク LAN(5問) インターネット(5問)		10 問	3問以上			
	情報モラルと情報セキュリティ		10 問	3問以上			
	ワープロ	選択式テスト(6問) 2 実技テスト(4問)	10 問	3問以上			
	表計算	選択式テスト(6問) 2 実技テスト(4問)	10 問	3問以上			
	プレゼンテーション	選択式テスト	10 問	3問以上			
3級 (600点満点)	タイピング	タイピングテスト	右記		選択式テスト57問 実技テスト8問 計65問	以下基準を全て満たしている場合に合格 タイピングテスト5分間に、100点中/40点以上の得点(日本語300文字以上あるいは英字510文字以上のいずれか) 選択式テストおよび実技テスト65問中、43問以上に正答(65%以上の正答率/500点中325点以上) 各カテゴリの正答率が全て30%以上  一次郎検定2級の合格基準 ワープロカテゴリで一次郎を選択し、そのカテゴリ正答率が70%以上であり、P検3級に合格している場合、一次郎検定2級の同時合格となる	タイピングテスト5分 選択式テスト35分 実技(ワープロ)10分 実技(表計算)10分 合計60分
	コンピュータ知識	選択式テスト	10 問	3問以上			
	OS		10 問	3問以上			
	ネットワーク LAN(5問) インターネット(10問)		15 問	5問以上			
	情報モラルと情報セキュリティ		10 問	3問以上			
	ワープロ	選択式テスト(6問) 2 実技テスト(4問)	10 問	3問以上			
	表計算	選択式テスト(6問) 2 実技テスト(4問)	10 問	3問以上			
4級 (400点満点)	タイピング	タイピングテスト	右記		選択式テスト52問 実技テスト8問 計60問	以下基準を全て満たしている場合に合格 タイピングテスト5分間に、100点中/30点以上の得点(日本語225文字以上あるいは英字383文字以上のいずれか) 選択式テストおよび実技テスト60問中、36問以上に正答(60%以上の正答率/300点中180点以上) 各カテゴリの正答率が全て30%以上  一次郎検定3級の合格基準 ワープロカテゴリで一次郎を選択し、そのカテゴリ正答率が70%以上であり、P検4級に合格している場合、一次郎検定3級の同時合格となる	タイピングテスト5分 選択式テスト30分 実技(ワープロ)10分 実技(表計算)10分 合計55分
	コンピュータ知識	選択式テスト	10 問	3問以上			
	OS		10 問	3問以上			
	ネットワーク(インターネット)		10 問	3問以上			
	情報モラルと情報セキュリティ		10 問	3問以上			
	ワープロ	選択式テスト(6問) 2 実技テスト(4問)	10 問	3問以上			
表計算	選択式テスト(6問) 2 実技テスト(4問)	10 問	3問以上				
準4級 (200点満点)	コンピュータ知識	選択式テスト	15 問	5問以上	57 問	以下基準を全て満たしている場合に合格 選択式テスト57問中、35問以上に正答(60%以上の正答率/200点中120点以上) 各カテゴリの正答率が全て30%以上	選択式テストのみ 合計40分
	ネットワーク(インターネット)		15 問	5問以上			
	情報モラルと情報セキュリティ		15 問	5問以上			
	ワープロ		6 問	2問以上			
	表計算		6 問	2問以上			
5級 (100点満点)	コンピュータ知識	選択式テスト	10 問	3問以上	30 問	以下基準を全て満たしている場合に合格 選択式テスト30問中、18問以上に正答(60%以上の正答率/100点中60点以上) カテゴリ別の足りきり設定は無し	選択式テストのみ 合計15分
	ネットワーク(インターネット)		10 問	3問以上			
	情報モラルと情報セキュリティ		10 問	3問以上			

- 総合実技テストは、ワープロ、表計算、プレゼンテーションの中から最大2種類のアプリケーションを使用し、与えられたビジネス上の課題(目的)に基づいた成果物を作成するテストです。(断片的な操作を判定するのではなくビジネス上の課題(目的)を達成しているか否かを判定するためヒューマングレーダーによる判定(人による判定)をいたします。
- 実技テストは、単一アプリケーションを起動し、課題に基づいて実技操作を行うテストです。
- 4級から準2級における実技テストは、全カテゴリの選択式テストが終了してから、ワープロ、表計算と続いてそれぞれ10分間実施されます。
- テスト時間は、出題形式毎の開始から終了までの正味時間であり、開始前の個人情報入力時間や開始前に操作説明を読む時間は含まれていません。

タイピングテストは、日本語入力(ローマ字、かな共通)の場合750文字、英字入力の場合1275文字が出題文字数となり、「入力文字数」÷「出題文字数」で得点が算出されます。(小数点以下切捨て)尚、日本語入力の場合は、「入力済みひらがなの文字数」によるカウントとなります。  
OSは、Windows XP、Windows Vistaから、ワープロは、Word 2003・2002、Word 2007、一次郎 2007・2006・2005から、表計算は、Excel 2003・2002、Excel 2007から、プレゼンテーションは、PowerPoint 2003・2002、PowerPoint 2007からの選択となります。  
ワープロカテゴリで「一次郎」を選択すると、自動的に一次郎検定を同時受験することができます。